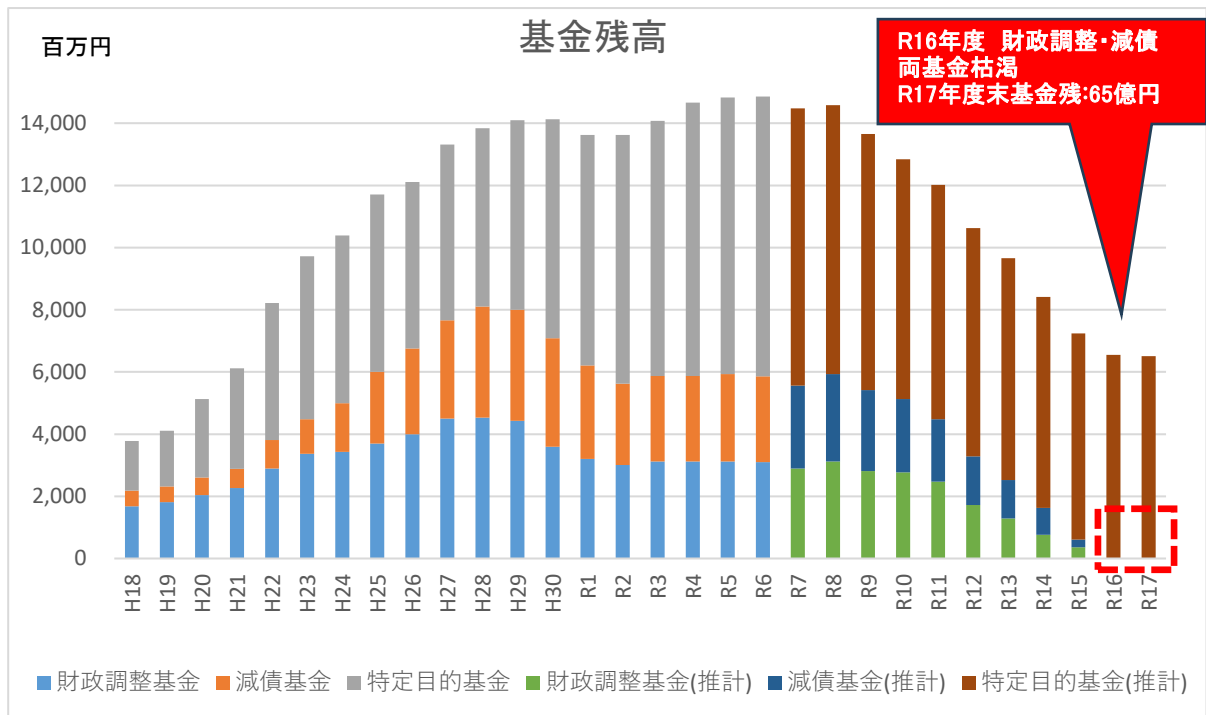
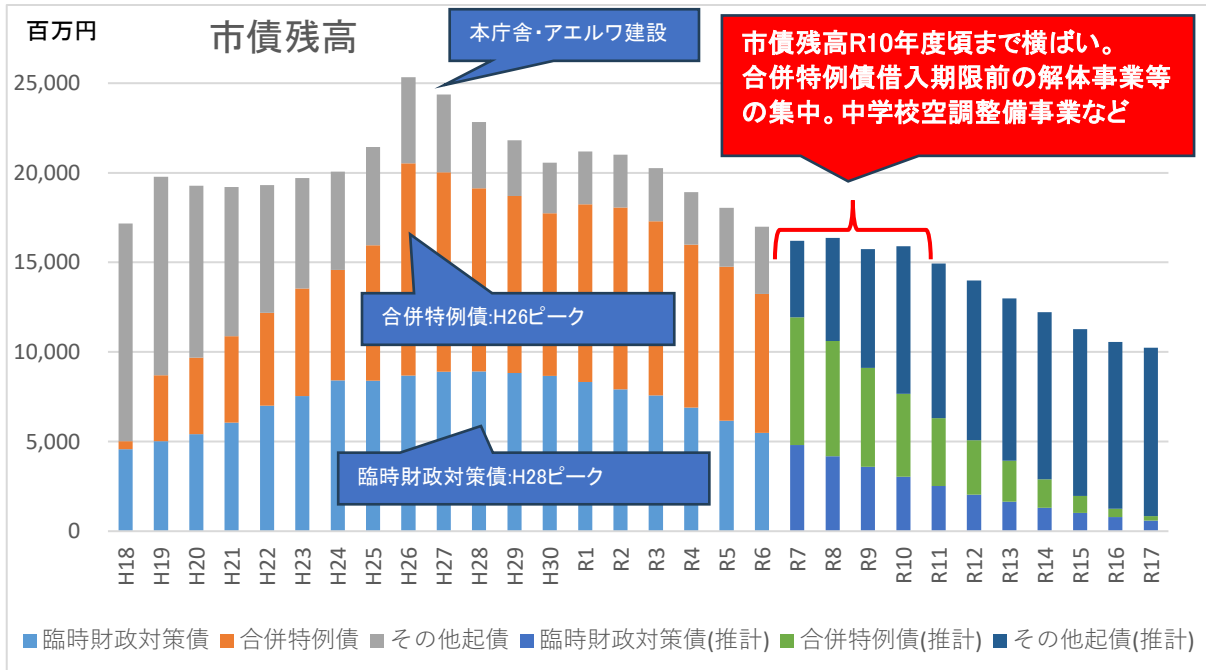


中期財政見通し 【概要版】

(令和8年度～令和17年度)

1. 今後の財政見通し (現状維持シナリオ)



2. 財政見通しの要因分析

【歳入】

- ・「市税」等の減少
(人口減少、固定資産税の減少)
- ・「地方交付税」の減少
(合併特例措置の終了、人口や公債費の減)
- ・ふるさと納税など不確定要素のある財源の活用
- ・合併特例債の終了

【歳出】

- ・「人件費」の高騰
- ・「物件費」の高騰 (指定管理料、委託料)
- ・「維持補修費」の増大
- ・「扶助費」の増大 (少子高齢化など)
- ・「負担金等」の増大 (ごみ処理施設負担金等)
- ・「老朽化対策費」の増大 (道路、公共施設等)
- ・「繰出金」の増大 (農業集落排水事業会計など)

3. 「阿波市行財政改革推進プラン2025」実施後の財政状況に反映した対策費用

「行財政改革推進プラン2025」で必要となる対策事項	必要となる費用 (R8～R17年度の10年間の総額)
累積収支不足額の補填 (令和17年度 歳入歳出差引額 ▲10.2億円→+7.1億円)	1,728百万円
財政調整基金残高確保 (残高0円→18.2億円)	1,817百万円
減債基金残高確保 (残高0円→5.1億円)	513百万円
合計	4,058百万円

4. 「行財政改革推進プラン2025」対策実施後のシナリオ

